労働者安全衛生対策部会
資料 4

危険体感施設について

2017年10月12日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.　無断複製・転載禁止　東京電力ホールディングス株式会社

１．訓練目的ならびに訓練項目

TEPCO

【訓練目的】

- １Ｆの墜落死亡災害の教訓から墜落・落下の危険性とその安全対策の重要性を認識する。
- 震災後の１Ｆで多く発生している事故事例からその危険性と安全対策の重要性を認識する。
- 現場の危険を確実に察知し，安全に作業を行える力量を養う。

【訓練項目】

- 落下衝撃力体感訓練
- 安全帯衝撃力体感訓練
- 安全帯ぶら下がり体感訓練
- 親綱緊張力体感訓練
- 安全帯2丁掛け（ダブルフック歩行）体感訓練
- ＫＹＴ（危険予知訓練）
- 巻き込まれ体感訓練
- 狭隘部体感訓練　　※H29新規項目・・・単独受講有
- 放射線作業困難性体感訓練（全面マスク未経験者等）
- 滑り・転倒体感訓練（希望者のみ対象）
- 試掘体感訓練（希望者のみ対象）
- 感電衝撃力体感訓練（希望者のみ対象）

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.　無断複製・転載禁止　東京電力ホールディングス株式会社

２．受講対象者・開催頻度

TEPCO

【受講対象者】

■ 危険体感訓練

1F構内で作業を行うもの全員（放射線従事者）

■ 狭隘部体感訓練※・・・平成29年新規項目

当　　社：保全部員、運転管理部員ならびにその他工事監理員有資格者

協力企業：既入構者のうち**重要設備**に関連する作業者全員

※平成28年12月に発生したヒューマンエラーによる重要な安全確保設備の停止に対する対策

【開催頻度・定員】

■ 危険体感訓練（延べ1,053回）

頻度：平均　18回／月　　各回12名定員

■ 狭隘部体感訓練（延べ116回）

頻度：平均　20回／月　　各回12名定員

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.　無断複製・転載禁止　東京電力ホールディングス株式会社

3．受講実績

TEPCO

平成27年3月より訓練開始

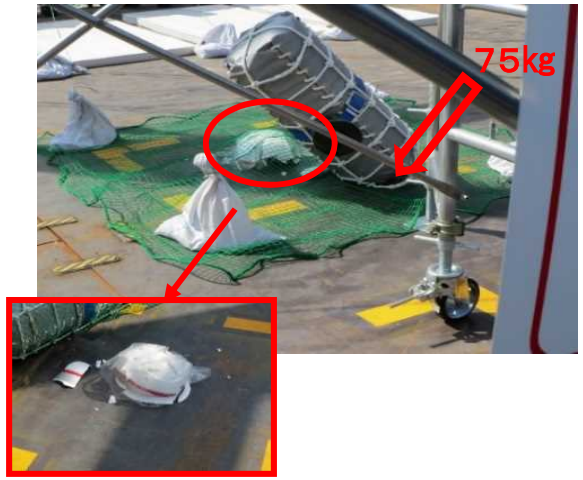
	社員	企業員	合計
平成27年度	780人	5,490人	6,270人
平成28年度	270人	1,882人	2,152人
平成29年度 （8月末現在）	798人 （うち狭隘部373人）	769人 （うち狭隘部315人）	1,567人 （うち狭隘部688人）

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.　無断複製・転載禁止　東京電力ホールディングス株式会社

４． 訓練風景(代表例)

TEPCO

【落下衝撃力体感】



ヘルメットが粉々

【安全帯衝撃力体感】

【安全帯ぶら下がり体感】

【ダブルフック歩行体感】

【KYT訓練】

【　狭隘部体感　】

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.　無断複製・転載禁止　東京電力ホールディングス株式会社